

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	働く婦人の家	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	05	01	01	11	働く婦人の家施設管理運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	5,489千円	8,094千円	6,203千円	0千円
	総人件費	7,327千円	7,108千円	7,108千円	
	総事業コスト	12,816千円	15,202千円	13,311千円	

事務事業名	01 働く婦人の家維持管理事業				指標名	活動サークル・利用回数				指標種別	成果指標		指標の概要	活動サークル数・利用者人数		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン	-				7,800	8,000	8000	8000	8,000	-	-					
実績	-				7,507	8,100	7,792	7402	-							
総合戦略	-				H29年度				H30年度				その他の指標	-		
	-				改善目標	施設の法定点検等を行い、施設老朽化への安全対応と、女性だけに限定しない施設の利用を検討する。				改善目標	施設の法定点検等を行い、施設老朽化への安全対応と、勤労女性だけに限定しない地域にあった施設の利用を検討する。					
	-															
市長公約	-				事業計画	3年に1度の特殊建築物法定点検を実施し、指摘事項については、利用者への安全性を考慮し計画的に修繕する。				事業計画	平成30年6月に実施する「ふれあいまつり」にむけ、参加者の安全等を図る「サークル活動など利用者の満足度向上にむけ、施設の管理を徹底する。					
個別計画	-															
根拠法令等	つくば市働く婦人の家条例				活動実績	利用者が快適に過ごせる施設を提供するために施設の見廻り及び備品の点検を強化し、早急に修繕が必要なものについては、迅速に対応した。				上半期活動実績	-					
事業分類	F 施設等維持管理事業															
執行体制	一部委託				成果	特殊建築物法定点検で指摘のあった排煙窓については使用出来ることを確認し、避難口灯については修理等を実施した。また、老朽化している玄関ドア修繕、調理実習室の蛇口の修繕等を実施した。				上半期成果	-					
事業の目的	つくば市の女子勤労者及び勤労者家庭の女性とその支援者のための福祉増進を図り、職業生活と家庭生活に必要な指導・実習等を行い、知識の向上と休養・レクリエーションの場と機会を提供するため。															
事業の概要	つくば市の女子勤労者及び勤労者家庭の女性とその支援者のための福祉増進を図り、職業生活と家庭生活に必要な指導・実習等を行い、知識の向上と休養・レクリエーションの場と機会を提供する場を適正に維持管理する。				課題	特殊建築物法定点検で指摘のあった外壁や室内の亀裂については、傷みががひどく、予算を確保し計画的に修繕が必要。				課題	-					
ISO 14001	H29 環境関連性	○ 地球温暖化の防止				達成	行政評価に取り組むことで、業務の効率化を図ることができ、限られた経営資源の有効活用につながることで、残業時間やエネルギー使用の縮減に貢献する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成		
	H30 環境関連性	○ 地球温暖化の防止			達成	行政評価に取り組むことで、業務の効率化を図ることができ、限られた経営資源の有効活用につながることで、残業時間やエネルギー使用の縮減に貢献する。				事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			理由	-					
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-									
H31年度当初積算根拠		-														
H31年度の方向性		-														

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	5,489千円	8,094千円	6,203千円	0千円
	総人件費	7,327千円	7,108千円	7,108千円	
	総事業コスト	12,816千円	15,202千円	13,311千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	働く婦人の家	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	05	01	01	11	働く婦人の家施設管理運営に要する経費

事務事業名	02 働く婦人の家自主企画事業	指標名	講座開催数・講座応募者数				指標種別	成果指標	指標の概要	講座開催回数・講座延べ受講者数	
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
	-	実績	726	765	800	800	800	-			-
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				
市長公約	-		施設を勤労者が利用できるように、平日の夕方と、土曜日終日での講座開催の周知を強化し、利用者増を図る。				勤労者が利用可能な時間帯に講座を開催する。広報活動も昨年同様実施し、利用者の増加に繋げる。				
個別計画	-	事業計画	年代層のニーズを把握し、勤労者が利用しやすい曜日、時間での講座開催の企画する。また、パソコン講座など勤労者の就業支援となるような講座を取り入れ、遠方からの受講応募者の増加に努める。				広報活動は昨年同様実施し、6月のふれあいまつりにおいては、サークル活動や講座受講者の作品等を参加者に展示するなど、講座参加者へ周知することで。更なる利用促進に繋げる。				
根拠法令等	つくば市働く婦人の家条例	活動実績	平日の夕方及び土日の講座を増やし、勤労女性等が知識として取り入れたい講座を検討、チラシ・ホームページ・広報紙など広報活動を強化しながら、36講座を実施した。参加者にアンケートを実施し満足度調査を行った。				上半期活動実績				
事業分類	A 任意的事业	成果	市内全域からの申し込みの増加、また参加者数も昨年と比べ約240名ふえるなど成果を得た。また、応募が多かった講座やアンケートにより希望が多かった講座を再度実施するなど要望に応えた。また、講座からサークル活動へ移行したものが5講座あり、利用促進につながった。				上半期成果				
執行体制	職員のみ	課題	駐車スペースが狭い。利便性も悪いため車で来る参加者が多い。そのためサークル活動者が多い時間帯に講座を開くことが難しい。				課題				
事業の目的	つくば市の女子勤労者及び勤労者家庭の女性とその支援者のための福祉増進を図り、職業生活と家庭生活に必要な指導・実習等を行い、知識の向上と休養・レクリエーションの場と機会を提供するため。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
事業の概要	職業生活と家庭生活の調和のために、自己開発・健康管理・休養・家庭等の分野の講座を講師に依頼して毎月開催している。講座申込みの広報は「広報つくば」に掲載し、各交流センタ17館にもポスターを依頼し告知するとともに、来館している各サークルにもチラシ等を配布している。	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-				
ISO 14001	H29 環境関連性	○ 地球温暖化の防止	達成	行政評価に取り組むことで、業務の効率化を図ることができ、限られた経営資源の有効活用につながることで、残業時間やエネルギー使用の縮減に貢献する。		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			
	H30 環境関連性	○ 地球温暖化の防止		行政評価に取り組むことで、業務の効率化を図ることができ、限られた経営資源の有効活用につながることで、残業時間やエネルギー使用の縮減に貢献する。		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				
		事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業費(A)				
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金				
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財				
		一般財源	314千円	339千円	511千円	0千円	人件費(B)				
		正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人	時間外勤務				
		臨時職員等	0.00時間	0.00時間	0.00時間	-	事業コスト(A+B)				
		事業実施コスト	3,372千円	3,368千円	3,354千円	-	H31年度当初積算根拠				
		H31年度当初積算根拠	-	理由		H31年度の方向性					